



# 学校通信「考動」

令和5年1月16日  
第10号  
文責 校長 阿部龍彦

## 【大島学園コミュニティ・スクール目標】

大島を愛し、自分で考え 責任をもって行動する子ども

〒811-3701 福岡県宗像市大島1163-1 TEL72-2024 FAX72-2756  
大島学園ホームページ<https://www.city.munakata.lg.jp/school/s020/>



## 明けましておめでとうございます！

令和5年のスタートとともに、3学期が始まりました。今年**卯（ウサギ）年**です。ピョンピョンと飛び跳ねるその姿から、大きく飛躍する年、生活が向上する年と言われていています。また「成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われています。今年1年、皆さんがどれだけ成長できるかとても楽しみにしています。



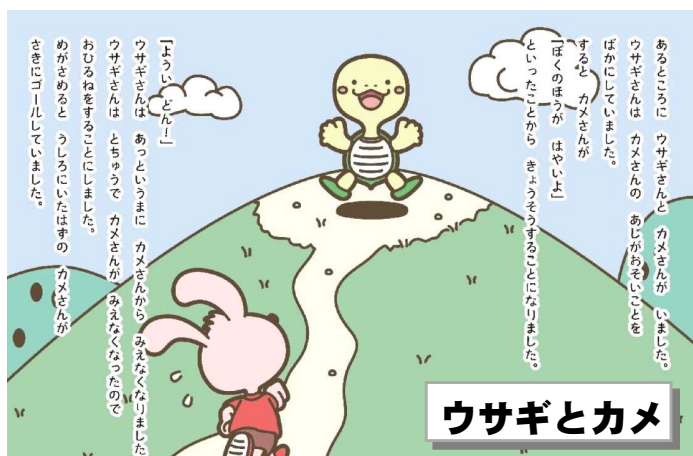
## 3学期始業式での校長先生からの話（一部抜粋）

童話の中に「ウサギとカメ」のお話があるのを知っていますか？（ストーリーは省略）

ウサギとカメの「駆けっこ」で、足の速いウサギが足の遅いカメに負けてしまうお話です。教訓は・・・

「自信過剰になって油断すると大きな失敗をしますよ」ということです。

しかし、この話はもっと大切なことが隠されています。それはウサギが「敗れた本当の理由」は何かということ事です。ウサギが敗れたのは、居眠りが原因ではありません。**カメとウサギは、見るものが大きく違っていた**ということ事です。



ウサギとカメ

○ウサギが見ていたものは「カメ」。

カメに勝つことだけを目指していたことによる油断が敗北の原因です。ウサギは常に他人に「勝つか敗けるか」だけに心を奪われていました。

ところが、カメは違ったのです・・・！！

○カメが見ていたもの「(山の)ゴール」です。カメは最初からうさぎに勝つことを目標にせず、ゴールまでの自分の頑張り（成長）に目を向けていました。その考え方の差が、結果にも出たわけです。

さあ、今日から短い3学期が始まります。学年のしめくくりの学期です。この3学期、**みんなが頑張ることは、「〇〇さんより」ではなく「〇〇ができるまで」という目標を見失わないようにしていくことです！**特に9年生は、この学園で過ごす最後の3ヶ月です。（実際は2ヶ月）高校進学という最後の目標に向かって、最後まで諦めず頑張ってください。

年始ということで、校長先生は今年1年の目標を漢字にしました。自分も含め皆さんにこうあってほしいという願いをもめての漢字1文字です。それは「**ひらく**」です。

小学部 中学部・先生 **「ひらく」**  
◆小学部の子どもたちの「ひらく」は⇒⇒「**開**」  
ドアを自分の力で押し開いて、挑戦しましょう。できなかったことをできるように、そしてできていたことをよりできるように挑戦していきましょう。  
◆中学部の子どもたちの「ひらく」は⇒⇒「**拓**」（開拓）

まだ見ぬ世界（やったことのないことを）を自分の力で切り開いていきましょう。ゴールを見失わず、挑戦していける1年にしていきましょう！！

## 全校集会① 5年・7年生発表 「今年の漢字と抱負」

全校集会では、5年生と7年生が、今年の抱負を「漢字1字」として表してくれました。「明」「極」「助」「進」「越」「轟」「伝」「仲」「協」…願いや思いが実現する1年にしていきたいと思います。

## 全校集会② 表彰 ※「社会を明るくする運動作文」入賞者は前号で紹介済

中学生の「税の作文」コンクール	会長賞	9年	福崎	心美
福岡女学院短歌コンクール	佳作	6年	中村	太一
ふくおか県民文化祭 俳句大会	秀作	7年	藤島	圭吾
夏休み理科自由研究コンクール	優秀賞	8年	古城	梨央菜
宗像地区文化連盟文芸部「群友」	入賞	9年	福崎	心美
宗像地区文化連盟文芸部「群友」	入賞	7年	福崎	未空
宗像地区文化連盟文芸部「群友」	入賞	7年	宮本	京介



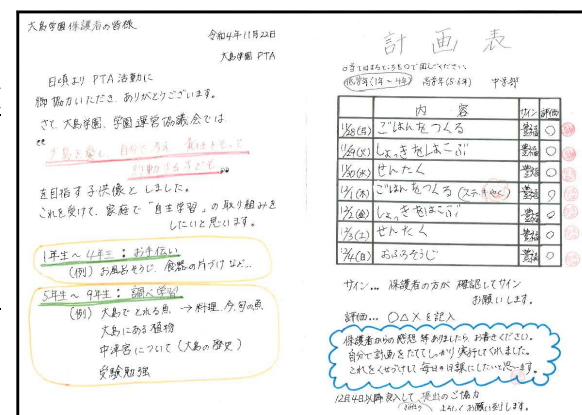
## 12/14（水）第4回 学園運営協議会の報告 ～家庭部会～

「地域を愛し、自分で考え責任をもって行動する子ども」を育てるコミュニティ・スクールの

目標に向かって、2学期に学校・地域・家庭が取り組んできたことの報告を行いました。特に【家庭部会】が取り組んだ「**自主学習**」（期末考査後の1週間、家庭で「家のお手伝い（1～4年）」「**調べ学習**（5年～）」に取り組む）は、子どものレポート（右参照→）からも分かるように、大変手ごたえのある取組となりました。

これを受け、話し合いでは、この「自主学習」を継続・充実させるために「**冬休み中の調べ学習（大島ならではの郷土料理）**」を実施することとなりました。

下↓は、子どもたちが「ふるさと大島の郷土料理」について調べ、実践したレポートです。

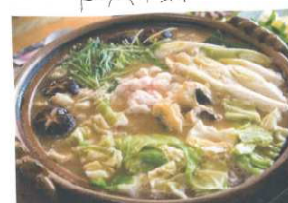


日頃より PTA 活動に御協力いただき、ありがとうございます。さて、大島学園、学園運営協議会では「地域を愛し、自分で考え責任をもって行動する子ども」を目指す子供像としました。これを受けて、家庭で「自主学習」の取り組みとしたいと思っております。

保護者からの感想等ありましたらお書き下さい。

1月2日 知前(柳野 菜)


大島ならではの郷土料理について... トウエイ鍋



「トウエイ」とは本州の中部以南の海域に生息する大ワナギに似た魚です。お釜にほうとうと合わせて入れたトウエイを鍋にした魚料理がはじまりです。次第にトウエイ料理は広まり、旅館や一般家庭でも食されるようになりましたが、トウエイは獲れる量が少なく、さばき方も難しいため、宗像市大島のみで受け継がれてきました。

12月21日 知前(吉賀 悠奈)

大島ならではの郷土料理について...



おかしはとて右とろろが、おかしくらんどうも食べると体があたまもさ。

家庭での声かけや見守りは、子ども達にとって大きなエネルギーとなっているようです。

